

札幌日本大学高等学校同窓会

桜 同 窓 会

〒 061-1103 北広島市虹ヶ丘 5 丁目 7 番地 1 TEL 011-375-2611
E-mail : oukoukai-snuh@sapporonichidai.ed.jp

Vol.13
2013.8.25

学校名より少し馴染みが薄い学校法人名。一期生は卒業直後に名称が変わり、ここ数年の卒業生は札幌日大高校開校前のこととは知らないかもしれません。五〇周年を機に少し紹介してみたいと思います。

「札幌日本大学学園」の始まりは、百二十四年になります。日本大学は、建学の精神として「自主創造」を掲げており、日本人としての主体性を持つことで、国際社会で活躍できる人材を育成することを目指しています。

「札幌日本大学学園」の始まりは、一九六四年（昭和三十九年）に開校した「学校法人北海道日本大学高等学校」です。日本大学出身の浅利義市氏が母校の教育理念に基づいて、北海道の大地でフロンティア精神に則り、社会に貢献する有為な人材育成を目的に創立しました。白老町立白老中学校の一部を仮校舎に開校式と第一回入学式を行いました。男子百八十三名・女子六十六

名（普通科四学級）が入学しました。一九八七年（昭和六十二年）四月、同校を「北海道桜丘高等学校」とし、新たに「札幌日本大学高等学校」を開校しました。一九九〇年（平成二年）四月には、法人名を「札幌日本大学学園」に変更しました。その後、北海道桜丘高等学校の経営は学校法人北高等学校と校名を変えています。二〇〇三年（平成十五年）四月に「札幌日本大学中学校」を開校し、現在に至ります。

— 最近の活躍 —

以前から、在校生や卒業生の活躍を数多く耳にしますが、特に最近は素晴らしいものがあります。

今春の進学実績は、東京大学（理科 I 類）へ一名、国公立・私立大学合わせて医学部医学科へ六名、北海道大学へは四年連続二桁となる十一名が合格。国公立大学合格者数は過去最多の八十二名（過年度生を含む）となりました。日本大学へも法学部、理工学部など、短期大学部も含めて六十四名が合格しています。

部活動においても、男子バスケットボールにおいて、男子バスケット

トボール部が「ウインターカップ二〇一二」で全国ベスト 8。吹奏楽部は「全日本吹奏楽コンクール北海道大会」で、平成二十二年度から三年連続金賞を受賞しました。昨年度は同コンクール全国大会にも初めて出場し、銀賞を受賞。「全日本アンサンブルコンテスト全国大会」でも金賞を受賞しました。今年度に入つても、テニス部が「北海道高等学校テニス選手権大会」で、団体・シングルス・ダブルスの全種目で男女完全優勝を成し遂げ、放送局は「第六十回 NHK 杯全国高校放送コンテスト北海道大会」で学校総合最優秀賞を受賞。剣道部、柔道部、陸上部も全国大会出場を決めています。

— そして五〇周年へ —

現在、学園創立五〇周年という記念すべき年を、在校生、保護者、教職員、そして学園の伝統を築いてくれた卒業生と祝福すべく、様々な記念事業が進められています。

札幌日本大学高等学校同窓会「桜会」は、体育館のメインスピーカーを記念品として寄贈し、前述の吹奏楽部は、記念品として寄贈し、前述の吹奏楽部は、全国大会出場の際には楽器輸送費用を支援しました。

九月には記念式典なども行われます（詳細は次ページ参照）。皆様のご参

に投函して頂きますようお願い致します。個人情報保護のための目隠し用シールを同封致しましたのでご利用下さい。切手は必要ありません。

▽ 本人情報欄

返信ハガキは、皆様の現況届けを兼ねております。総会に欠席される方や現住所などに変更がない場合でも、全てご記入の上、返信をお願い致します。

特に、封筒の宛名書きに記載されています。

現住所などに変更がない場合でも、全てご記入の上、返信をお願い致します。

特に、封筒の宛名書きに記載されています。

一方、昭和六十二年開校の札幌日本大学高等学校の教育活動に関する記録は多くの資料で、二十五年間の足跡をうかがうことができます。この間平成十五年には、併設型の中学校を開校し、中高六力年一貫教育をスタートさせています。

乗り越える力は、同じように苦境を乗り越えた先人の姿からもたらされではないでしょうか。私たちが岐路に立たされた時、どの道を選ぶかの判断は、先人達が立ち歩んできた道のりの先にこそあるのではないですか。

であれば、私たちにとって、自らの歴史書を超える指南書はなく、自らの歴史を超える啓発書はありません。逆に言えば歴史書は今を生きる我々が未来を切り開く力を得られる啓発書

歴史の始まりは、白老の地から札幌の地へと継承されていくのであります。こうしたことから、記念誌の目的は、この開校の精神の発祥と発展と継承の過程を明らかにすることだと思います。育てたい」という思いから始まっています。教育理念の核となっているのが建学の精神で、その校訓（創造・敬愛・剛健）に熱い思いを込めています。先生たちは、この教育理念を受け継ぎながら生徒の指導に情熱を注ぎ、

(同窓会報誌創刊号抜粋)



現日本大学学
山の五十年の
歴史を四つの
時代に分けて

本田元則

機関紙編集委員長
学校法人札幌日本大学学園
五〇周年記念誌から
同窓会に期待すること

「つか」林嶺日本大学中学校の開設による中高六カ年一貫教育の時代であります。

として迷うことなく前に進むための
指南書としてつくられなければなりません。
せん。

生徒たちは知らず知らぬうちに教育理念を受け継ぎ、そして保護者は、その理念に賛同してくれるから快く学校に協力していただけるのです。

11月27日(日)午前10時30分から、「第11回定期総会」を札幌市立大高校で開催いたします。何かとお忙しいことは思いますが、皆様お誘い合わせの上お集まりいただきますようお願い申し上げます。なお、総会の議案については、以下の内容を予定しております。

①平成25年度の事業報告及び決算報告書
同窓会会報の発行や卒業記念品の贈呈など、今年度の事業内容とそれに伴う運営費、活動費について報告をし、承認を得たいと思います。

②平成26年度の予定事業
及び予算案審議
以下の事業と、それに伴う予算について審議を行います。

④その他 幹事会の拡充など同窓会の組織や運営について、幅広く意見交換などを行いたいと思います。

—第10回定期総会—

平成24年11月4日、札幌日本大高校で、 第10回定期総会が開かれました。出席者は少數でしたが、各議案に対しても報告や審議、質疑応答が行われました。

- ・同窓会会報の発行
23年度はなし。24年度は「桜暦会V」
01・12」を、不明者リスト、総会出席確認用返信ハガキとともに、平成24年10月5日に発送。
- ・第10回定期総会の議案書作成・審議
役員会を開き、各議案について審議を行い、議案書を作成。
- ・同窓会名簿管理
名簿データの更新作業を実施。
- ・同窓会ウェブサイトの管理
今後の運営について検討。
- ・その他
- ・同窓会運営について検討。
第2号議案
- ・同窓会運営について検討。
平成23・24年度決算報告
承認されました。

幹事		常任幹事	幹事会
寺岡	克啓	(4期生)	
辻	維之	(7期生)	
山本	史弥	(15期生)	長井東梨奈(12期生)
大渕	貴康	(2期生)	中野
藤原	克彦	(4期生)	友紀恵(6期生)
早津	美奈	(9期生)	早津
森本	卓朗	(10期生)	森本
相田	学	(11期生)	相田
小林	義典	(12期生)	小林
杉本	弘志	(13期生)	杉本
津田	亮太	(14期生)	津田
野地	辰也	(17期生)	野地

第11回 桜昂会 定期総会

～平成25年10月27日(日)
午前10時30分より開催～

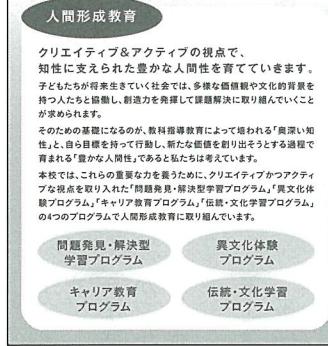
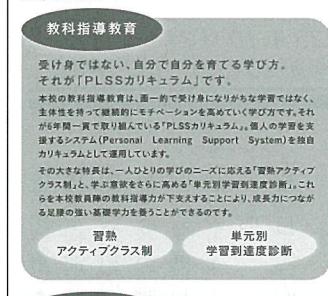
- ・卒業記念事業
 - ・在校生特別支援金事業
 - ・同窓会会報の発行
 - ・定期総会の議案書作成・審査
 - ・同窓会名簿管理

ここにその報告をさせていただきます。

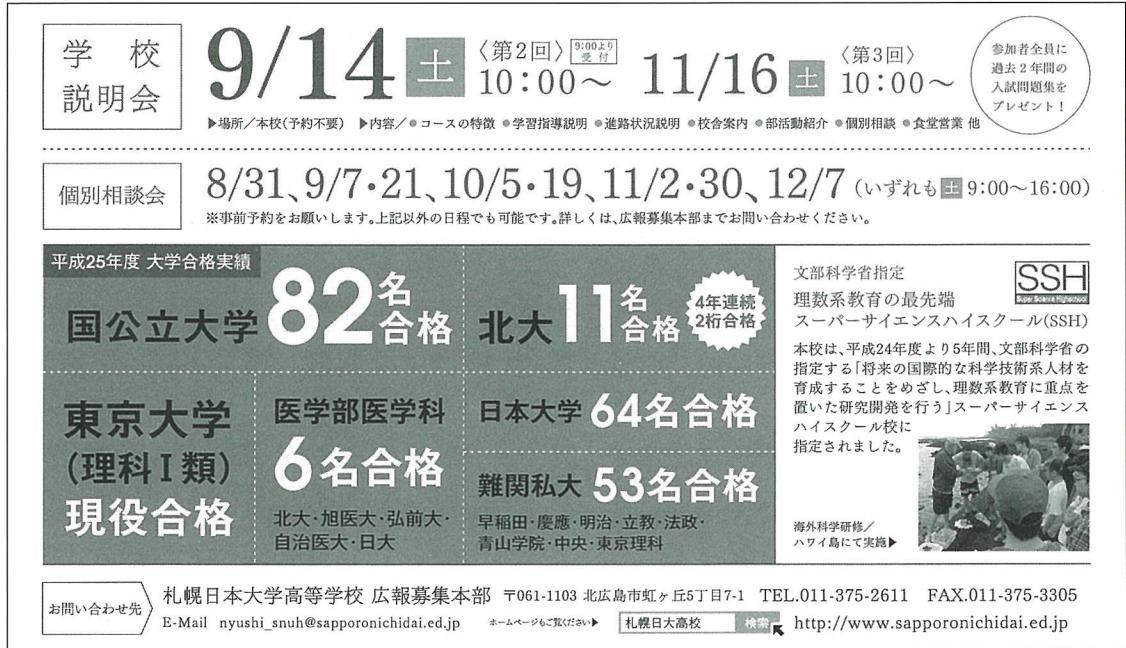
第三号議案
役員改選

●札幌日本大学中学校

一人ひとりの成長力を、確かな学びで育てたい。
世界に貢献する人を——。
札幌日本大学中学校・高等学校の教育ビジョンです。
本来に必要な力をもつ人を育出するために、本校が掲げる教育ビジョンは「世界に貢献する人」です。それは、国内外のどこにいても、地球市民の一員として物事を広く深くとらえ、よい社会づくりのために自由で元気に行動できる人のことです。本校では、未だ通用しない「探究指導教育」、豈る人間力をもむる「人間開拓教育」を二本柱として、大学受験、その他の目標も、自ら見つけ見つかる自分の歩み



●札幌日本大学高等学校



いしますと、会報誌創刊号で語っています。このように、同窓会も初代会長、田村紀之さんの同窓会への熱い思いから始まっているのです。

記念誌が、学校法人札幌日本大学学園の五十年の歴史を語るように、同窓会の歴史も一步一步積み重ねていて、その歴史を語るようにしたいものです。

同窓会活動が、母校の十周年記念に向けて発足したように、再び五十周年記念を境に、なお一層の組織の充実と母校の発展に寄与していただきたいものです。

同窓会規約第一条には、活動の目的がかかげられ、第一は、会員相互の親和向上を図ること、第二は、札幌日本大学高等学校の発展に寄与するなどあります。発展に寄与するとは、発展に貢献することであり、学校の発展に役立つ事業を行うことがあります。

そして、この目的を達成するために三つの事業を実施するとあります。第一は同窓会報誌の発行、第二は母校発展のための親善事業、第三は会員相互の親睦と教養を高揚するための記念講演

【札幌日本大学高等学校男女別卒業者数】

回期	卒業年度	男	女	合計	累計者数
1	平成元	3 4 8	1 1 1	4 5 9	4 5 9
2	2	2 5 4	8 8	3 4 2	8 0 1
3	3	2 5 8	8 4	3 4 2	1, 1 4 3
4	4	2 3 1	1 3 2	3 6 3	1, 5 0 6
5	5	2 2 8	1 2 4	3 5 2	1, 8 5 8
6	6	2 6 1	1 3 8	3 9 9	2, 2 5 7
7	7	2 1 8	1 4 9	3 6 7	2, 6 2 4
8	8	2 2 2	2 2 8	4 5 0	3, 0 7 4
9	9	1 9 5	1 1 6	3 1 1	3, 3 8 5
10	1 0	2 0 7	1 4 7	3 5 4	3, 7 3 9
11	1 1	1 5 7	1 0 4	2 6 1	4, 0 0 0
12	1 2	2 3 6	1 6 1	3 9 7	4, 3 9 7
13	1 3	1 9 2	1 2 8	3 2 0	4, 7 1 7
14	1 4	2 1 2	1 2 3	3 3 5	5, 0 5 2
15	1 5	2 0 4	1 4 1	3 4 5	5, 3 9 7
16	1 6	1 6 6	1 1 6	2 8 2	5, 6 7 9
17	1 7	1 9 5	1 2 7	3 2 2	6, 0 0 1
18	1 8	2 0 5	1 2 7	3 3 2	6, 3 3 3
19	1 9	1 7 2	1 1 1	2 8 3	6, 6 1 6
20	2 0	1 5 4	1 0 2	2 5 6	6, 8 7 2
21	2 1	1 8 2	1 2 4	3 0 6	7, 1 7 8
22	2 2	1 5 6	1 2 6	2 8 2	7, 4 6 0
23	2 3	1 4 4	8 8	2 3 2	7, 6 9 2
24	2 4	2 1 3	1 7 4	3 8 7	8, 0 7 9
合 計		5, 0 1 0	3, 0 6 9	8, 0 7 9	/

ています。さらに、同窓会活動は、卒業した皆さん全員の協力があつて活動していくける団体ですので、今後とも学校の発展、地域の発展のためにご協力

演などの事業を行なうとあります。今後は、これらの事業を積極的に展開していただき、組織の運営、管理の充実と役員の組織マネジメントに期待し

たいものです。
平成元年が最初の卒業生です。あれ
から二十四年、会員も八千名を超えま
した（左表参照）。

尚、法人五十周年記念事業に同窓会より体育館設備改修工事に、メインスピーカーが寄贈されています。